

# 西南日本の深部低周波微動・短期的スロースリップ活動状況 (2009年8月～2009年10月) その2

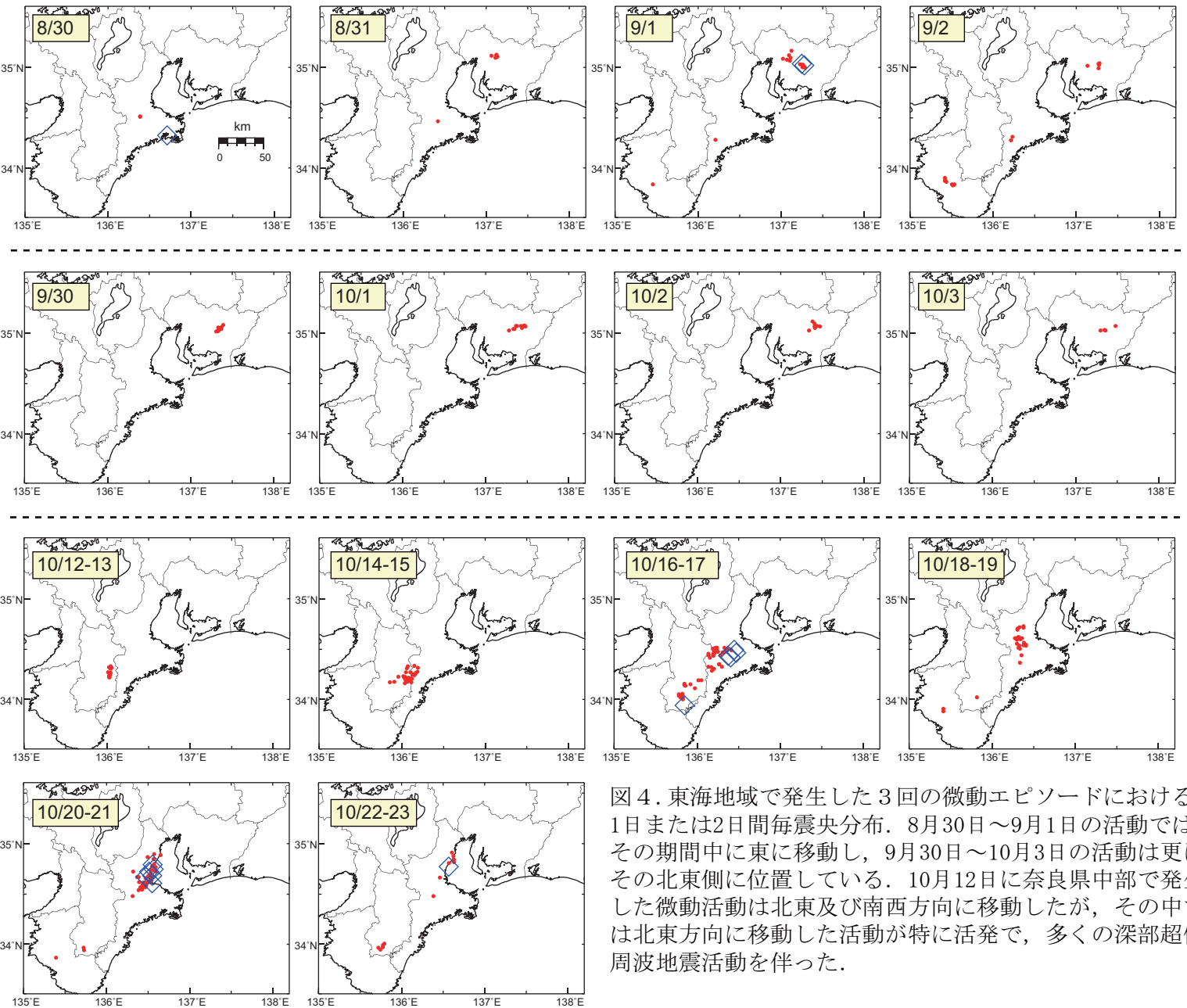


図4. 東海地域で発生した3回の微動エピソードにおける1日または2日間毎震央分布。8月30日～9月1日の活動ではその期間中に東に移動し、9月30日～10月3日の活動は更にその北東側に位置している。10月12日に奈良県中部で発生した微動活動は北東及び南西方向に移動したが、その中では北東方向に移動した活動が特に活発で、多くの深部超低周波地震活動を伴った。

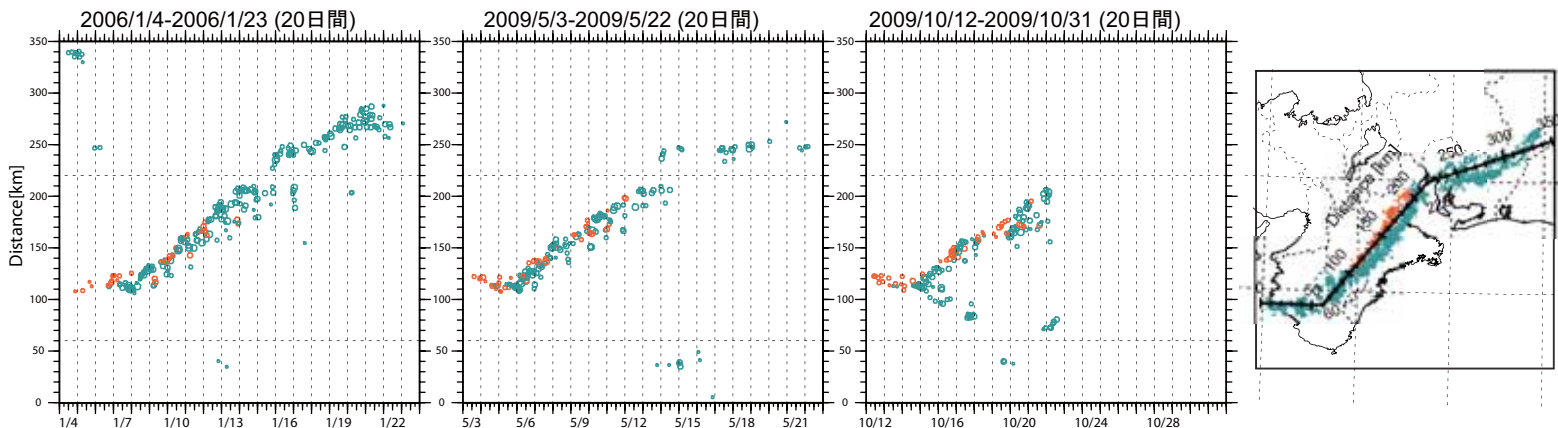


図5. 深部低周波微動源時空間分布。10/12からの活動と移動パターンが良く似た2006年1月、2009年5月のエピソードについて、右図の測線に沿って示す。紀伊半島内では微動活動が2列に分布するが、その深部側を橙、それ以外を緑で表わす。今回の活動は深部側から開始し、若干南西に移動した後浅部側に移り、その後は浅部・深部の領域を含んで主に北東方向に移動した。このようなパターンは2009年5月の活動と酷似している。2006年1月の活動も深部側から開始し、これらの3つの活動の中では最も移動速度が大きかった。

# 西南日本の深部低周波微動・短期的スロースリップ活動状況 (2009年8月～2009年10月) その3

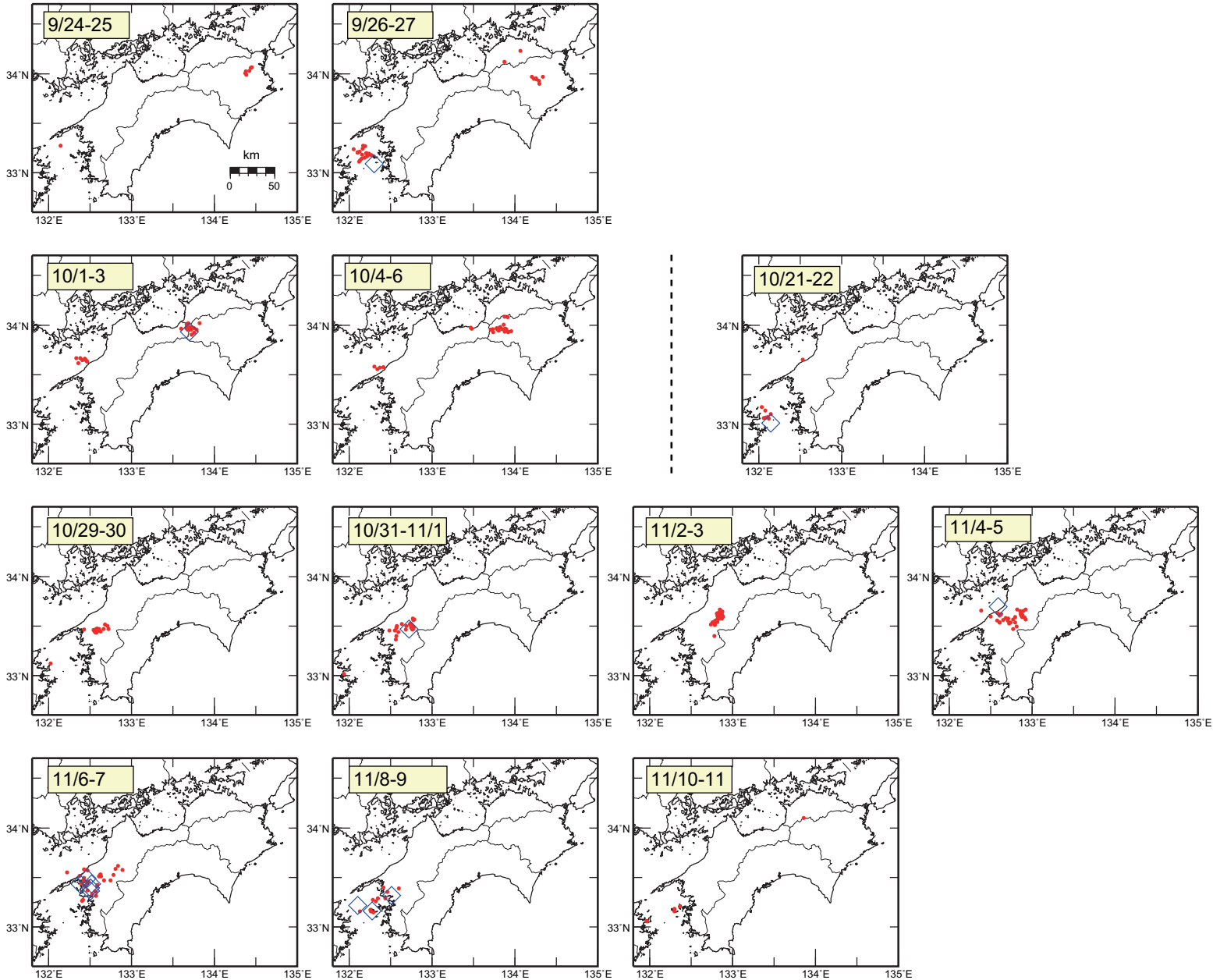


図6. 四国で発生した微動エピソードにおける2日または3日間毎震央分布. 9月24日～27日の四国東部の活動は東から西に移動した. 10月1日～6日の活動は, 徳島・香川・愛媛県境付近から始まり東に移動した. 10月21日～22日には豊後水道で活動が見られた. 10月29日に四国西部で発生した活動は一旦北東に移動し, 11月5日頃から南西方向に移動したが, 10月21日～22日の活動域とは重なっていない.

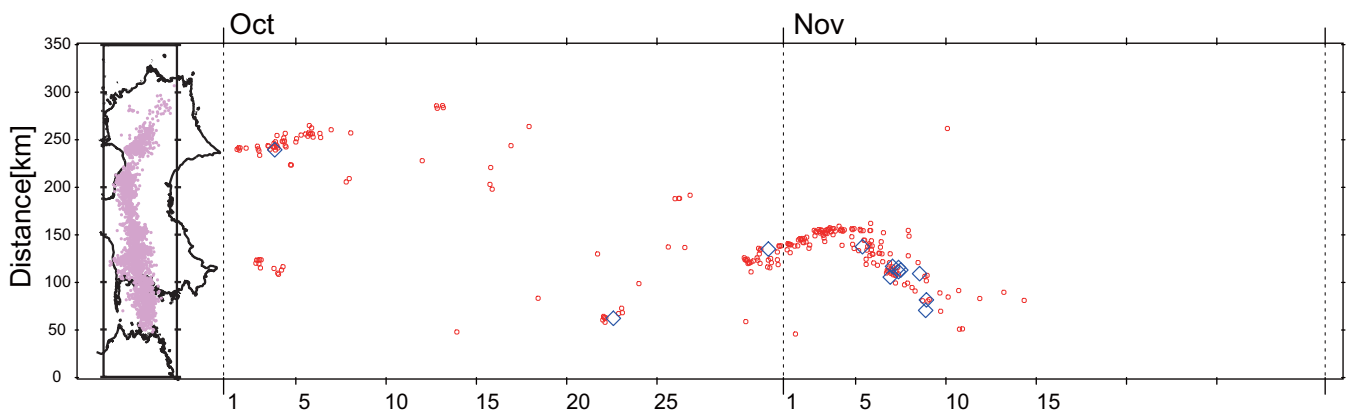


図7. 2009年10月～2009年11月15日の1ヶ月半の深部低周波微動(赤)及び深部超低周波地震(青菱形)の時空間分布.